



祝 辞

本草薬膳学院 講師
市川 賢二郎

この度は御卒業おめでとうございます。
ございます。

昨年十月に皆さんとお会いしまして、あつという
間に終わりました。

大変重みのある一年だったと思います。薬膳の勉強
するにあたり、不慣れな語句、読めない漢字、難解
な内容、宿題の多さ等々、随分と悩まされ、そして
苦しかった一年だったと思います。しかし、その苦勞の
結果、今日 良き日を迎えられました。薬膳師に
なる夢を持たれて、家事・仕事など忙しい日々を過
ごしながらも夢に向かつて頑張り続け、中には遠い地
方からも受講され、大変苦勞された方もいらっしゃる
と思います。今日という卒業の日を迎えられました。本当
にお疲れ様でした。

「周の時代に書かれた」(周礼)の中に「食医」とい
う王族の營養を管理する医者がいたという史実を基
に薬膳は発展してきたのですが、これから皆様方にお
願いすることは、家族の食医になつてもらい、そして
社会の食医としての、薬膳師となつて貰いたいという
ことです。これから来る少子高齢化時代に対応し、
社会貢献していく学問が、正に我々これからが学
んだ薬膳であると、信じて疑いません。

正に我々は時代の最先端の学問を学んでいること
を、自覚して欲しいと思います。

でも、皆様方が学んだことは、中医学の4千年の歴
史の中での、ほんの一握りにしか過ぎません。
本日はおめでとうございます。唐詩の中に「千里
の目を窮めんと欲し、更に上る一層樓」という有名な
一節があります。

これからも、さらに研鑽を重ねて世に名を残す偉
大な薬膳師になつて頂きたい。そして、薬膳学に新
たなる息吹を吹き込み、日本の風土に合った、生き
ることに役立つ、自分自身の独自の薬膳を創り出し、
自分のため、家族のため、明日のより良い健康のため
に研鑽してください。そして、人を思いやる心、助け
てあげようと思う気持ち、活してあげようと思う
【愛しみの心】、色んな事象にも落ち着いて行動し、
時の流れに

逆らわない【調和の心】、自分を生んで、育てくれた
両親、食べ物を与えてくれた生産者、学問を学ばせ
てくれた社会環境などに、【感謝】の気持ちを忘れ
ず、いつも【笑顔】を絶やさず、夢に向かつて更に一歩、
高みへ上つていって下さい。
簡単ではございますが、お祝いの言葉とさせていただきます。
本日はおめでとうございます。



2014年度 春期学生募集開始!

是非、お知り合いの方をご紹介ください!

◆ 中医薬膳師(通学)コース

1. 平日コース [第1・3火曜日] (2014年4月1日開講予定)
2. 土日コース [第2土・日曜日] (2014年4月12日開講予定)

※ 中医薬膳師(通信教育)コースは随時募集しております。

